

ファブテラス通信

Fab Teracce Iwate News Letter

第2号

平成30年3月28日発行

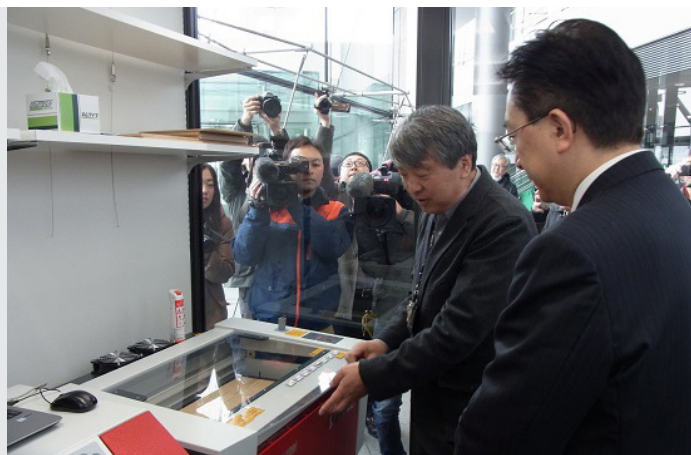
企画・発行／岩手県商工労働観光部ものづくり

自動車産業振興室

編集／特定非営利活動法人ゴーフォワードジャパン

ファブテラスいわてがオープンしました！

平成30年3月3日、ファブテラスいわてのオープニングセレモニーと第4回メイカー塾を開催しました。



最新のデジタル機器を使った工作が体験できる「ファブテラスいわて」のオープニングセレモニーが平成30年3月3日、午前9時から開催されました。

いわて県民情報交流センター（アイーナ）3階の一角に設置された会場には、定刻前から多くの参加者やマスコミ各社が集まりました。

セレモニー前には、超小型飛行体研究所の宗像俊龍氏の操縦による小型飛行体の飛行デモが行われました。背中に羽が生えたパンダが飛行すると、参加者からは歓声が上がりました。

セレモニーには達増拓也知事が参列し、レーザー加工機で松材から文字を切り出し「ファブテラスいわて」の看板を製作しました。また、挨拶ではファブテラスいわて開所に向けた思いを参加者に熱く語りました。

切り出した文字を知事がサインボードに取り付け、完成したサインボードを会場前に設置し、無事「ファブテラスいわて」がオープンとなりました。



▲宗像氏の飛行デモ

第4回メイカー塾

同日10時からは、アイーナ5階にて「第4回メイカー塾」を開催しました。ファブラボ太宰府の中澤未来さんの特別講演会「ファブラボなう・・・ファブ界隈の“いま”」と、超小型飛行隊研究所の宗像俊龍さんによるワークショップ「モモンガヒコーキを作ってみる」の2本立てという内容で、およそ40名の方に参加いただきました。

中澤さんからは、ファブラボ大宰府の紹介や、最近のファブ業界のムーブメントについてお話がありました。ファブとテキスタイル、ファブとバイオを組み合わせることが最近の動向とのこと。興味深いお話に、参加者も熱心に耳を傾けていました。

宗像さんのWSでは、「モモンガヒコーキ」を参加者ひとりひとりが製作しました。素材を型紙を使って切り貼りし、モモンガの顔を描いて、それぞれのオリジナルモモンガヒコーキを完成させました。宗像さんからよく飛ぶ作り方のコツを聞いたりしながら、大人も子供も夢中で作業に没頭しました。



▲モモンガヒコーキ作りに夢中！



▶中澤未来さんの講演

3D Printing 2018 を視察しました！



2018年3月14日（水）～16日（金）に東京ビッグサイトで開催された「3D Printing 2018」を視察しました。

この展示会は3Dプリンターの国内最大の展示会として開催されているもので、主要なメーカーの3Dプリンターが勢ぞろいする展示会です。大型～小型の様々な3Dプリンターが展示されていましたが、今回は一般向けの小型のものを中心に見てきました。

数多くの展示機器の中で、特に印象に残った3Dプリンターをご紹介します。

◆ Qhoria : (株) 久宝金属製作所製

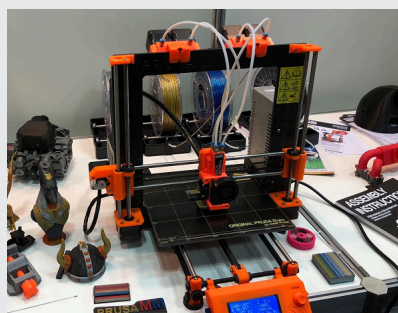
0.5mmノズル、0.2mm積層ピッチという荒い設定（速度重視）でも綺麗な仕上がりでプリントされる様子を展示していました。

このプリンターは手作りで注文に間に合わず、現在2ヶ月待ちの状態とのこと。価格は現在特別価格で324,000円と高めですが、印刷精度が抜群でした。

◆ PRUSA i3 Mk3 : PRUSA RESEARCH (チェコ) 製

世界シェア1位を誇る、PRUSA i3の最新型、Mk3は、前モデル(Mk2)から新型のエクストルーダ、多数のセンサーを搭載した他、特殊金属製で脱着が容易なビルドプレートを採用するなど、性能が強化されていました。また、同時に4種のフィラメントでプリントできるマルチマテリアルキットの展示もあって、4種のフィラメントを組み合わせ出力する様子が印象的でした。

この展示会は毎年ほぼ同時期に開催されるとのことですので、3Dプリンターに興味のある方は、来年の展示会をご覧になってはいかがでしょうか。



▲ PRUSA i3 Mk3

「3D Printing 2018」 <http://www.3dprintingexpo.jp/>

「Qhoria」 <http://q-ho.com/products/Qhoria/Qhoria.ph>

「PRUSA i3 Mk3」 <https://www.prusa3d.com/original-prusa-i3-mk3/>

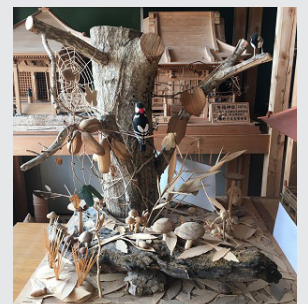
世田米中学校「バベルの塔」農林水産大臣賞受賞！

日本木材青年団体連合会が主催する「第42回全国児童生徒木工工作コンクール全国大会」で、住田町立世田米中学校 特設木工部の野呂梓さん、佐々木美月さん（ともに3年生）の製作した「バベルの塔」が、中学生部門の最高位にあたる農林水産大臣賞を受賞しました。

この作品の参考となったのは16世紀の画家ブリューゲルが描いたバベルの塔をもとに、「AKIRA」で知られる漫画家・大友克洋さんが描いた「INSIDE BABEL」です。野呂さん・佐々木さんの2人が佐藤智一校長の指導を受けて取組み、レーザーカッターで切り抜いたおよそ8,000点もの部品を4ヶ月にわたってコツコツと組み上げたそうです。2人は、塔の断面図の構造を参考にスケッチを繰り返し、部品を図面化したとのこと。

同校の農林水産大臣賞受賞は3年連続17回目とのこと。先輩たちの偉業にプレッシャーが無かったかとの質問に、「プレッシャーよりもやりがいが大きく、挑戦する楽しさを味わった。受賞できて嬉しい。」とさっぱりと答えていました。この経験で培った集中力や計画性が、これからの学業や生活にプラスになるとも話していました。

取材に先立って、これまでの卒業生が製作した作品が収蔵されている部屋を見せていただきましたが、いずれも秀作ぞろいで圧倒されました。過去の作品は建築物、動植物などをテーマとしたものなどがあり、伝統の中にもバリエーションに溢れる作品で見応えがありました。



▲過去の生徒の作品
◀バベルの塔